

=====

**RIKKYO UNIVERSITY**  
**VOLUNTEER CENTER MAIL MAGAZINE**  
**2020. 12. 04**

=====

こんにちは。立教大学ボランティアセンターメールマガジン 12 月 4 日号です。

冬本番を迎え、寒さも厳しくなる季節ですが、いかがお過ごしでしょうか？キャンパスでは、クリスマスイルミネーションがライトアップされ、日々寒さが増していく中、ほっとする電球の灯りがともっています。今年は残念ながら、構内での点灯式は行われず、イルミネーション見学のために入構はできませんが、その様子を配信にて楽しむことができます。

池袋キャンパスでは、2020 年度立教大学池袋クリスマス実行委員会によるイルミネーション点灯式（11/27）の動画が YouTube にて録画配信されています。

→<https://youtu.be/aQmhiNy30J8>

新座キャンパスでは、立教新座高等学校クリスマス実行委員会による点灯の動画がオンラインで配信されています。

→<https://niiza.rikkyo.ac.jp/aboutus/christmas.html>

いずれも来年 1 月 6 日（水）まで配信予定ですが、来年の今頃は、両方のキャンパスで直接点灯式やイルミネーションが見られるように祈るばかりです。



**CONTENTS**

- (1) ボラセン関連イベント開催のご報告
- (2) ボランティアセンターからのお知らせ
- (3) 陸前高田サテライト・東日本大震災復興支援関連情報
- (4) オンラインで参加できるボランティア・イベント等の紹介

=====

**(1) ボラセン関連イベント開催のご報告**

=====

**【第 4 回 Online Volu-cafe ご報告】**

第4回

# Online ボラカフェ

今回のゲストは男子学生！！

アンテナを立ててみよう！自分の「きっかけ」探し。  
経済的貧困や社会格差など、社会的課題について考えるには…？

先輩から話を聞いてみよう！ボランティア活動や学生生活のヒントが見つかります！

Guest  
・コミュニティ福祉学部 福祉学科 3年生

もちろん女子も大歓迎！！

**集まれ！ボラ男子！！**

日時 **11.20(金)** 12:35～13:20 (昼休み)

参加方法 **ZOOM** 双方向・座談会形式

申込方法 立教時間からお申し込みください  
**締め切り11/18(水)17時**  
**定員10名 ※先着順**  
(参加者には前日にURLをお送りします)

主催:立教大学ボランティアセンター ☐volunteer@rikkyo.ac.jp

第4回 Online Volu-Café は11月20日（金）、先輩のゲスト学生1名と、1年生4名、2年生2名、コーディネーター2名による座談会形式で行われました。

参加者の方からは、こんな声をいただきました。

「初めてボラカフェに参加しましたが、ボランティア活動の実態を具体的によく知ることができて、参加してよかったです。様々な年代の方々とのかかわりを大事にしたいと思いました。いつもアンテナを張っておきたいと思います。」

「とてもタメになるお話を聞くことができました。活動ができるようになったら、今回先輩がお話しして下さったボランティア先で活動したいと思います！」

「同じ学部の先輩ということもあり、ボランティアだけでなく、授業やゼミのことも聞くことができて、参加した甲斐がありました。とても参考になりました。」

「子ども相手のボランティアは、とても楽しそうだと思っていましたが、同じくボランティアで働く方々が優しく穏やかな雰囲気だというのは新しい発見でした。」

「ボランティア活動の他にも、立教サービスラーニング(RSL)科目\*のお話しも伺い、興味が湧きました。来年受講してみたいと思います。」

\*立教サービスラーニング(RSL)科目について

→[https://www.rikkyo.ac.jp/education/system/service\\_learning.html](https://www.rikkyo.ac.jp/education/system/service_learning.html)

社会的課題について考え、自分と社会とのつながりを意識して行動するゲスト学生のお話をたくさん聞き、ボランティア活動をより深く具体的に知ることのできる座談会となりました。

今後も様々な経験を持つ学生を招いてボラカフェを行いますので、ぜひご参加ください。立教時間、twitter、Instagramでお知らせします。初めての方も、リピーターの方も、お待ちしております！

以下、第4回 Online Volu-cafe の概要です。

参加者のみなさんに質問

今回、ボラカフェに参加した理由を教えてください。

- ・実際のボランティアをしている先輩のお話を聞けるということで、ボランティアについてもっといろいろなことについて知りたいと思ったため。
- ・ボランティア経験豊富な先輩のお話を聞くことで、今後のボランティア活動に生かしたいと考えたから。
- ・普段は同じ学部（コミュニティ福祉学部）での繋がりがなく、なかなかお話を聞く機会がないが、今回は同じ学部の先輩からお話を聞くことができるため。
- ・他の授業で友だちからボラカフェのことを聞いた。前々からボランティア活動には興味があり、おもしろそうだなと思い軽い気持ちで参加した。

### Sさん（ゲスト）より主な活動内容の紹介

- ・NPO 法人豊島子ども WAKUWAKU ネットワークで、週一度学習支援を行っている。
- ・子供食堂に料理を作りに行くこともある。
- ・ボランティアは、「難しそう・意識高い・善いことをする」というイメージが強いが、自分としては、「学びの場」「社会を繋げる場所」であると思う。授業で学んだことが実際にはどうなのか、弱い立場である人たちの社会問題を知ることもある。

### 活動する団体の説明

#### NPO 法人豊島子ども WAKUWAKU ネットワークについて

団体 HP→<https://toshimawakuwaku.com/>

- ・子どもの貧困をテーマに地域の子どもたちを地域で見守る団体。子どもの貧困に向き合い「遊びサポート・学びサポート・暮らしサポート」という3つのサポートを行っている。どの部分にも立教生が多く関わっている。
- ・(厚生労働省 H29 年発表のデータによると) 子どもの貧困は4 人家族で月 20 万円以下の生活。子どもの相対的貧困率は 13.9%、ひとり親家庭の相対的貧困率は 50.8%。  
→経済的な困窮や経験の剥奪、精神面への影響などが起こる原因となる。このような問題に「おせっかい」でアプローチし、地域住民や学生ボランティアが中心に運営している。
- ・子どもの募集は地域全体で、様々な理由で通う子どもがいる。(ネグレクト、外国ルーツの子、生活保護世帯の子、ひとり親家庭の子など)

### 活動団体との出会い

大学入試問題で取り上げられていた新聞記事の中で目にしたことがきっかけ。その記事の中で、NPO 団体が子どもたちを支えていることを知って驚き、大学入学後にボランティアセンターで相談し、そのような活動を行っている団体に思い切って連絡を取ってみた。有名な団体なので大きいのだろうと思っていたが、実際は地元の方々が中心に行っていて、人の温かみあふれる現場であった。

ボランティアを始めるきっかけは、「興味があるから」「卒論の題材のため」など、人によって様々。授業やプライベートの都合に合わせて参加できる。

### 団体の活動について

#### 遊びサポート「プレーパーク」

・火遊びも水遊びも、自由に遊べる場所。大学生がリーダーとなり、一緒に子どもたちと遊ぶ。(遊びサポートは有償で、アルバイト扱いとなる。)

・季節イベントの企画。レジャー経験が少ない子どものために、良い思い出を作ってもらいたいという想いから開催。学生たちが企画することもあり、WAKUWAKUは「やってみたい」という想いを柔軟に応援してくれる。優しくあたたかい大人が多い。

### 学びサポート「池袋 WAKUWAKU 勉強会」

・家でも学校でもない放課後の居場所。ネパールの子どもの多くが日本語の勉強なども教える。また、宿題や受験勉強だけでなく、悩み相談や一緒に遊ぶこともある。

### 暮らしサポート「子供食堂」

・曜日によって、いろいろな場所で食堂が開かれ、それぞれ2週間に1度行っている。運営している主婦や学生ボランティアの負担にならないように配慮されている。今は密にならないようお弁当の配布などで対応している。

### WAKUWAKU ホーム

・短期で子どもを預かる場所。緊急に子どもを預かって欲しい時等、保護者のニーズに応じて柔軟に対応。母親が小さい子どもとずっと一緒にいると煮詰まってしまうこともあるため、一時的に離れてみることも大切。

### 自分の中での変化

・人見知りや和らいだ。前は自分から大勢の中に入っていくのは苦手だったが、ここでは子どもたちから声をかけてくれるため、自分からも積極的に動けるようになった。

・子どもの貧困問題を、社会課題のひとつとしてではなく、目の前のこととして考えられるようになった。(大きな変化)

・子どもたちとの関わりの中で、アドバイスよりも、まずは話を聞き、受け止めることが大事だと感じた。勉強ばかりではなく、心の声を大事にするようになった。子どもたちが自分を必要な存在としてくれていることで、元気がもらえる。

### 感じていること

・学生のうちにボランティアをすることで得られることはたくさんあり、大切だと思う。ミーティングやイベントの企画などに、主体となって関わることができることも良い経験。

・子どもたちと関わる時は夢中になるため、「ボランティアをしている」とはあまり意識していない。自分も子どもたちから癒され、元気をもらえる。

### 伝えたいこと

・今はコロナで難しい状況だが、「人と繋がることができる、自分を必要としている人がいる(需要がある)」ということを知り、この状況が落ち着いたら、活動を初めてみようと思っただけいたらたらと思う。

・少しの勇気を持って始めてみたら、何か変わるかも！

### 参加者からの質問

日本語教育に興味があるが、専門的な勉強をしていなくても大丈夫か？

→全く問題ないです！日本語教育は長期的に担当し、1対1で行っている。

## ゲストからの質問

### 興味のある分野は？

- ・国際ボランティア、環境保全、地域再生、復興支援
- ・子どもに関わる職業に就きたいので、こども食堂など
- ・塾のアルバイトで子どもに関わるのも楽しいので、教育支援にも興味がある。

## まとめ

**コーディネーター**：今は、ボランティアセンターとして、コロナ禍の影響もあり、今は具体的な団体の紹介はできないが、ボランティアに関する相談であればZOOMまたは対面（事前予約）で可能。自分の判断で自己責任の下、感染対策をした上で個人的に行くという形で活動している学生はいる。

WAKUWAKUでボランティアをしている大学生は本当に楽しそう。ボランティアをしているという感覚ではなく、大学生自身がイキイキと楽しそうにしている。

いろいろな世代、いろいろな環境の人と関わることができるのは、サークルにはないボランティアの魅力・楽しさであり、人と接することが楽しくなると思う。

**ゲスト**：主婦や社会人の方と話すのは刺激になるし、地域をより感じるができる。

**コーディネーター**：Sさん（ゲスト）のように、みなさんもいつもアンテナを立てておくと良い。自分の持っているスキルはいつどこで活かす時が訪れるかわからないので、いろいろな引き出しを持っておくと人生が豊かになる。子どもは反応がとても素直なので、そういった活動を学生時代に経験することも、きっと貴重な糧になると思う。

---

---

## （2）ボランティアセンターからのお知らせ

---

---

### 【コーディネーターに相談してみませんか？】

現在池袋・新座両キャンパスのボランティアセンターでは、コーディネーターに対面で  
の面談を再開しました。（メールによる事前予約制）

池袋、新座キャンパスともに、以下のスケジュールで窓口対応いたします。

月～金 10:30～15:30

また、引き続きzoomによる相談も受け付けています。

「ボランティアについて聞いてみたい」「現在取り組んでいる活動についてちょっと相談したい」「ボランティアサークルのことで悩んでいる」という皆さん、ぜひお問い合わせください。

メールは [volunteer@rikkyo.ac.jp](mailto:volunteer@rikkyo.ac.jp) まで

### 【秋学期のボランティア活動について】

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、本学学生ボランティアサークルのボランティア活動は、本学課外活動の基準に沿った対応を取ることになっています。

夏休みまで、ボランティアの紹介・広報活動も全て中止としてきましたが、秋学期からは、オンラインのボランティアの研修等、感染リスクのないものについては緩和し、情報提供していく予定です。情報提供が開始される際には、また HP や SNS 等でお知らせします。

なお、感染状況が好転した場合、本学課外活動の基準が緩和された場合は、それに準じてボランティア活動も基準の緩和を検討し、本学ボランティアサークル等に周知します。

引き続き、個人の責任においてボランティア活動に参加しようとする場合は、いま行なうことが本当に必要かどうかを慎重に検討し、自己責任の上行動してください。活動先が各自治体等で示している活動再開指針を遵守しているかどうかを必ず確認した上で参加するようにしてください。

以上について、不明な点や活動についての相談があれば、遠慮なくボランティアセンターまでお問い合わせください。

メール：[volunteer@rikkyo.ac.jp](mailto:volunteer@rikkyo.ac.jp)

電話：03-3985-4651

### 【サークルを装った危険な宗教団体に注意してください!!】

大学のキャンパスを中心に勧誘活動を行ない、多くの大学生をメンバーとする危険な宗教団体が存在します。かつて「統一協会(原理運動)」と言われた団体と関係のある団体で、立教大学内でも活動したり、最近ではSDGsや環境系のイベントへの参加を呼びかけながら勧誘活動を行っているとの情報が寄せられました。

これらの団体は、自分たちの正体を伏せたまま、スポーツサークル、劇団、コーラスグループなどの活動を装って勧誘し、気づかれないうちに皆さんを取り込んでいきます。最近では流行りの「SDGs」をうたい文句に、環境問題や身近な場所のゴミ拾いやセミナーなどを開催し、勧誘しているようです。そのマインド・コントロールの手法は、少しずつあなたを洗脳していきますが、大切な学生時代を台無しにしてしまう大きな危険性をはらんでいます。

秋学期から対面授業も始まり、キャンパスに通学する学生も増えてきました。また、コロナ禍の中で、何か始めたい、友達を作りたいと思い行動に移そうと考えている学生の皆さんの心理を巧みに利用しようとする、これらの危険な宗教団体の存在について強く注意を喚起したいと思います。少しでも不安や疑問を感じたら、すぐに学生部やボランティアセンターに相談してください。

---

### (3) 陸前高田サテライト・東日本大震災復興支援関連情報

---

みなさん、こんにちは！陸前高田サテライト事務局です。

立教大学では2011年の東日本大震災以降、岩手県陸前高田市を中心に東北各地で復興支援活動や交流活動を継続しています。現在は、陸前高田市ご協力のもと、岩手大学の方々と共に同市の地域課題解決に貢献できるようなプログラムにも取り組んでいます。

陸前高田市と立教大学の歩みを少しずつ振り返りながら、学生の皆さんが陸前高田を訪れることができるプログラムやスタッフによる耳ヨリ情報を掲載していきます！

★スタッフが出会った、たかたのことば～鈴木 英里さん(東海新報社・代表取締役社長(元

同社記者))

立教大学文学部の卒業生である鈴木英里さん。学生時代から編集の仕事に就きたいという熱意を持ち、卒業後は東京の出版社に就職。その後、故郷の岩手に戻り、気仙地区の地元紙・東海新報の記者として活躍。2020年4月より同社社長に就任しました。

東日本大震災前後の時期にも地元の方々に寄り添う取材・発信を続け、地元の方々からも慕われています。スタッフも親しみを込めて「英里さん」と呼んでいます。今回は英里さんの言葉を1つご紹介します。

「仕事で悩んだり迷ったときには『PRO DEO ET PATRIA』に立ち返っている。『PATRIA』が指す『国』とは『自分の暮らす社会、ふるさと』のこと。すぐ隣に困っている人がいる。この人たちのために何ができるのか。地域紙の果たす役割や自分の使命について考えながら仕事をしています。」(立教大学新入職員研修のご講話から)



※英里さんについてもっと知りたい方は以下の記事もご覧ください。

<https://www.rikkyo.ac.jp/closeup/topics/2014/0301.html>

\*お問合せ 立教大学陸前高田サテライト事務局 [rrs@rikkyo.ac.jp](mailto:rrs@rikkyo.ac.jp)

\*陸前高田サテライトの取り組みを発信中

公式 Instagram (@rikkyo\_rrs) [https://www.instagram.com/rikkyo\\_rrs/](https://www.instagram.com/rikkyo_rrs/)

---

#### (4) オンラインで参加できるボランティア・イベント等の紹介

---

Gakuvo (公益財団法人日本財団学生ボランティアセンター) より

<ボランティア募集>

※詳細・申込みはこちら→ <http://gakuvo.jp/event/10769.html>

【オンライン版】チーム「ながぐつ」プロジェクト福島 第4回 ※申込締切日: 12/7 (月)

※チーム「ながぐつ」プロジェクトについて

昨年の台風19号で大きな被害を受けた福島県いわき市。東日本大震災を契機に、2013年から続けているいわき市への学生ボランティア派遣 チーム「ながぐつ」プロジェクトですが、3月以降は活動ができていません。このままの現状を変えよう！という想いから、お世

話になっているいわきの方々とも相談し、学生と現地の方々との繋がりをつくる機会をオンラインでつくることにしました。学生の学びを深め、また学生と現地の方々との繋がりをつくる、保ち続けるためのプログラムです。

学生同士の交流もなかなかできない中ですが、新しい繋がりをつくっていきましょう！

#### <活動内容>

1日目 16:00~20:30 オリエンテーション／現地の方からのお話／交流会

2日目 9:00~11:30 現地農家の方のお話／農家さんの商品を発信しよう！／振り返り

#### <募集要綱>

◆日程：12月12日（土）～12月13日（日） オンラインプログラム

◆募集人数：10名程度

◆応募条件：原則として以下の条件に合致する方

- ・PCを使用して参加できる方
- ・活動期間に大学・大学院・短期大学在籍中の方(学部・学科不問)

◆準備するもの

- ・PC
- ・メモできるもの(筆記用具など)
- ・1日目の夕食(食材の一つは福島県産のものを使用する)
- ・ご自宅に届いた商品(たべもの)※2日目に使用

◆問い合わせ先

日本財団学生ボランティアセンター：高野、生島

TEL：03-6206-1529（火～金 10:00～18:00）※祝祭日を除く）

Mail：shien.11@gakuvo.com

#### <セミナー/シンポジウム>

※詳細・申込みはこちら→ <http://gakuvo.jp/event/>

#### ①『引き出せ、対話の場のチカラ～あなたがつくるためのために』

終わりの見えないコロナ禍、「思いっきりボランティアしたい」「もっと大学で色々やってみたかった」積もっていく学生一人ひとりの想い。「ずっとオンラインミーティングでつらい」「1年生と全然繋がっていない」焦燥感をもつ運営メンバー。

否が応でも、立ち止まって考えざるを得ないこの状況だからこそ、ストレスなく、安心して参加できる『未来会議』の対話を体験する価値があります。

ゲストには、東日本大震災後の福島県いわき市にて、様々な分断や軋轢を乗り越えるため、くつろぎながら誰もが参加できるワークショップ形式の対話の場『未来会議』をつくってきた方たちをお迎えします。対話のチカラに気づき、対話の場のチカラを引き出す方法を学びます。

\*ご参加された方が実際に『対話の場作り』をする際のサポートも行います。

◆日時：2020年12月11日(金)19:00～21:00

◆定員：30名程度



◆講師：霜村 真康 氏（菩提院副住職）、長谷川 久三子 氏（グラフィックレコーダー）

## ②『ボランティア体験を振り返り発信するための 文章力向上講座』

Gakuvo では、ボランティア活動に参加をするだけでなく、その活動を自身で振り返り、それを人に伝えることも大切にしています。「伝える」といっても、いまいちうまくまとめられないし、あらためて文章にしようとするとは意外と難しい！

そんな人のための、現役新聞記者が教える、文章力向上講座です。新聞記者は、取材などでインプットをしたものを記事に書きアウトプットする、ということを、日々続けています。今回の講座では、自分の体験を文章にするアウトプットに加え、ほかの人の体験をインタビューして引き出し、それを文章にするアウトプット・インプットの手法を学びます。

自分の体験や思いを文章にするということは、ボランティア活動のふりかえりだけではなく、就職活動にも就職してからもずっと必要な作業です。

このチャンスにぜひ学びましょう！

◆日時：2020年12月26日（土） 14:00～16:00

◆定員 50名

◆講師：大泉大介氏（河北新報社）

（編集：ボランティアコーディネーター／広瀬）

---

## 立教大学ボランティアセンター

---

### ◎池袋キャンパス

場所：5号館1階

開室時間：月～金 9：00～17：00

土曜日 9：00～12：30

### ◎新座キャンパス

場所：7号館2階

開室時間：月～金 9：00～17：00

※新型コロナウイルス感染拡大のため6月1日以降は短縮開室しております。

月～金 10:30～15:30

土曜日 10:30～12:30（新座キャンパスは原則として閉室です）

職員・コーディネーターともに交替で出勤・在宅勤務のため、休日授業日は、池袋・新座ともに最小人員で開室、授業休講日は、池袋・新座ともに閉室とさせていただきます。

### ◎ホームページ

[http://www.rikkyo.ac.jp/campuslife/support/extracurricular\\_activities/volunteer.html](http://www.rikkyo.ac.jp/campuslife/support/extracurricular_activities/volunteer.html)

◎メールアドレス

[volunteer@rikkyo.ac.jp](mailto:volunteer@rikkyo.ac.jp)

◎TwitterID @rikkyo\_volucen

[http://twitter.com/rikkyo\\_volucen/](http://twitter.com/rikkyo_volucen/)

◎Instagram

[https://www.instagram.com/rikkyo\\_vc/?hl=ja](https://www.instagram.com/rikkyo_vc/?hl=ja)

配信停止を希望の場合は以下の **Google Form** を送信してください。

<https://forms.gle/xFtZVvd94JelnJwm7>

---

(C)2019 RVC all rights reserved.

---